






SDGs おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2024年11月1日

事業者情報					
事業者名	東急不動産株式会社				
代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長			
	氏名	星野 浩明			
ホームページ URL (任意)	<a href="https://www.tokyu-land.co.jp/company/">https://www.tokyu-land.co.jp/company/</a>				
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての2030年のあるべき姿					
<p>東急不動産ホールディングスは2021年に長期ビジョン「GROUP VISION 2030」を発表しました。多様なグリーンの中で2030年にありたい姿を実現していく私たちの姿勢を表現する「WE ARE GREEN」をスローガンに、「環境経営」「DX」を全社方針として取り組んでいます。価値を創造し続ける企業グループをめざして、重視する社会課題から抽出した6つのテーマに取り組み、SDGsの達成に貢献していきます。中核企業である東急不動産では「環境先進企業」をめざして様々な取り組みを積極的に進めています。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可）          （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を実現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
		○●		○●	
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
○●	○●	○●	○●	○●	○●
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	
○●		○●	○●	○●	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
5、8、10、12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と共生した生活の提案。商業施設で緑と食を軸にしたサーキュラーエコノミーの実現</li> <li>・様々なクリエイターによる「創造的な消費体験」の提供</li> </ul>	住まい方・働き方・過ごし方を融合させた「ライフスタイル創造 3.0 (※1)」を推進し、心身ともに活力ある生活を実現します。
	実績(右に対する 2023 年度実績) <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さま満足度 92.8%</li> <li>・「ライフスタイル創造 3.0」に資する商品・サービス 60 件</li> </ul>	非財務 KPI (2030 年度 KPI) <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さま満足度 (※2) 90%以上</li> <li>・「ライフスタイル創造 3.0」に資する商品・サービス 100 件以上</li> </ul> ※1 快適な都市生活 安心安全な住まい 心身の健康 充実した余暇 クリーンエネルギー供給 ※2 東急こすもす会アンケート
3、11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアマネジメントを通じたコミュニティ形成</li> <li>・都市機能の持続可能性を担保するレジリエンスの推進</li> <li>・商業施設における環境・SDGs に関わる企業のマッチングや、イベントを実施</li> <li>・ギャザリング活動(地元団体・地元住民と連携したイベントの開催、コミュニティスペースの整備等)を継続的に実施</li> <li>・商業施設における環境保全活動「エコマキ」の一環で、間伐材を使ったワークショップを東急プラザ蒲田を含む関東・関西の全 11 施設において開催し、来館者に環境保全活動を身近に感じてもらうきっかけづくりを実施</li> </ul>	安心安全で快適な生活インフラの構築、共助コミュニティの創造により、誰もが幸せを感じられる社会を実現します。
	実績(右に対する 2023 年度実績) <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活性化施策 64 件</li> </ul>	非財務 KPI (2030 年度 KPI) <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活性化施策 100 件以上</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の安心安全対策強化 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の安心安全対策強化 (※3) 100%</li> </ul> <p>※3 大型・非住宅建築物の災害時帰宅困難者対応など</p>
<p>7、13、15</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ RE100 の達成</li> <li>・ 建物における環境性能の向上 (ZEB/ZEH)</li> <li>・ 建物寿命を延ばす管理運営・修繕による循環型社会の形成</li> <li>・ 食品廃棄物を主軸としたサーキュラーエコノミーを体現</li> <li>・ 商業施設における衣料品や植物のアップサイクルの取り組み実施</li> </ul> <p>実績(右に対する 2023 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ RE100 達成※</li> <li>・ 再生可能エネルギー電力利用率 84.1%</li> <li>・ CO2 排出量(2019 年度比) (SBT 認定) Scope1,2△69.7% Scope3△0.1%</li> <li>・ 水使用量 +7.5%</li> <li>・ 廃棄物量 (2019 年度比) △16.6%</li> <li>・ 環境認証取得 (CASBEE、DBJ など) 65.0%</li> <li>・ サステナブル調達 (型枠木材) 9.7%</li> <li>・ 緑をつなぐプロジェクト(森林保全面積) 2,145ha</li> <li>・ 事実を通じた環境への取り組み 70 件</li> </ul> <p>※RE100 の技術基準を満たすグリーンガスが現在日本の国内市場に存在しないため、コジェネレーション自家発電による電力 (全体比 0.2%) を除く</p>	<p>環境先進企業として、気候変動などの地球規模の課題に取り組み、脱炭素社会・循環型社会をつくります。</p> <p>非財務 KPI (2030 年度 KPI)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ RE100(※4※5) 2025 年達成</li> <li>・ 再生可能エネルギー電力利用率 60%以上</li> <li>・ CO2 排出量 (2019 年度比) (SBT(※6)認定) Scope1,2△46.2% Scope3△46.2%</li> <li>・ 水使用量 前年度比低減</li> <li>・ 廃棄物量 (2019 年度比) △11%</li> <li>・ 環境認証取得(※7) (CASBEE、DBJ など) 100%</li> <li>・ サステナブル調達 (型枠木材) 100%</li> <li>・ 緑をつなぐプロジェクト(森林保全面積) 3,000ha</li> <li>・ 事実を通じた環境への取り組み 100 件以上</li> </ul> <p>※4 事業活動で消費する電力を、100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする国際的なイニシアチブ</p> <p>※5 東急不動産(株)</p> <p>※6 Science Based Targets の略。科学的根拠に基づく温室効果ガス削減の中長期目標</p>

		<p>※7 非住宅の大型保有物件（延床面積10,000m<sup>2</sup>以上）を対象。共同事業など一部除く</p>
9、17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データドリブンなエリアマネジメント</li> <li>・東急ステイ全店舗に音声認識システム導入</li> <li>・アプリ開発による複合接点の統合・強化</li> </ul> <p>実績(右に対する 2023 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル活用による取り組み件数 100 件以上</li> <li>DX 投資額（2021 年度比）5.2 倍</li> <li>IT パスポート取得率 84.3%</li> </ul>	<p>デジタル技術の活用により、ビジネスモデル変革に取り組み、新しい顧客体験価値を創出します。</p> <hr/> <p>非財務 KPI</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル活用による取り組み件数 100 件以上</li> <li>DX 投資額（2021 年度比）(※8) 2 倍</li> <li>IT パスポート取得率(※5) 100%</li> </ul> <p>※7 2021 年度以降新たに開発、導入するアプリケーションやゼロトラストなどのインフラ関連費用</p>
5、8、10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性従業員の登用加速と中途採用の強化</li> <li>・男性育児休業に関する規程変更や促進対策</li> <li>・人権の尊重およびサプライヤーのデュー・ディリジェンス実施</li> <li>・DE&amp;I に関する E ラーニングの展開・啓発・モニタリング</li> </ul> <p>実績(右に対する 2023 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断受診率 99.9%</li> <li>・新卒女性採用比率 45.9%</li> <li>・女性管理職比率(中核人財における多様性の確保) 8.0%</li> <li>・男性育児休暇取得率 88.7%</li> <li>・DE&amp;I の理解深化 (E ラーニング受講率) 96.2%</li> <li>・サプライチェーンの人権配慮(強制労働や児童労働に対するデュー・ディリジェンス実施) 58.9%</li> </ul>	<p>人権を尊重し、多様な人財が能力を發揮できる組織風土により、イノベーションを生み出し続けます。</p> <hr/> <p>非財務 KPI</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断受診率 100%</li> <li>・新卒女性採用比率 50%</li> <li>・女性管理職比率(中核人財における多様性の確保) 20%以上</li> <li>・男性育児休暇取得率 100%</li> <li>・DE&amp;I の理解深化 (E ラーニング受講率) 100%</li> <li>・サプライチェーンの人権配慮(強制労働や児童労働に対するデュー・ディリジェンス実施) 100%</li> </ul>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ従業員向けのコンプライアンス E ラーニングの実施</li> <li>・第三者評価を取り入れた実効性評価の実施</li> </ul> <p>実績(右に対する 2023 年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株主・投資家エンゲージメント</li> </ul>	<p>あらゆるステークホルダーから信頼されるグループとして、経営の透明性・公平性を高め、企業価値の持続的向上をめざします。</p> <hr/> <p>非財務 KPI</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株主・投資家エンゲージメント</li> </ul>

	325 件 ・取締役会の実効性向上(第三者評価) 100% ・コンプライアンス行動基準遵守 98.4%	300 件以上 ・取締役会の実効性向上(第三者評価) 100% ・コンプライアンス行動基準遵守 100%
--	---	--